

令和 6 年度認知症施策事業計画

資料3

項目	事業名	令和 6 年度の方向性	取り組み内容
全 体	認知症施策推進協議会	【目的】 認知症高齢者及びその家族が住み慣れた地域で共に生活を送ることができるよう支援することを目的として、認知症高齢者を支援するための施策の推進に関し、関係者で協議するため協議会を設置する ・年 3 回を予定。（5 月・10 月・1 月）　＜委員任期：R5.7 月～R7.6 月　2 年間。＞	【協議内容】 ① 認知症高齢者に対する適切な医療及び介護サービスの提供に関すること ② 認知症高齢者及びその家族に対する支援に関すること ③ 認知症施策に係る関係団体等の連携に関すること ④ 認知症施策の検証及び方針に関すること　等 ⑤ 初期集中支援チームについての評価
	地域包括支援センター運営事業計画重点目標に関するアクションプランの設定・実施	各地域の特性・地域の動向に合わせ、地域包括支援センターが策定している地域包括支援センター運営事業計画重点目標の「認知症についての取組」に関して、アクションプランを設定、事業実施し、評価を行う	4 月　地域包括支援センター運営事業計画重点目標の「認知症についての取組」を基にアクションプランを作成 8 月　中間報告 12 月　評価
	認知症地域支援推進員会議	月に1回、各地域包括支援センターのアクションプラン実施報告及び、以下の認知症施策について、検討を行う	認知症施策の実施について、事業の進捗状況の確認や、事業の方向性について協議する。
① 普 及 啓 発 ・ 本 人 発 信 支 援	認知症全般の普及啓発 ※ 予防と共生をテーマ	・認知症地域支援推進員便り、「おれんじ通信」を年に 6 回発行。配布先の選定を適宜行う ・「たま広報」に認知症施策や認知症豆知識を年に 4 回掲載	【おれんじ通信】 ・各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が年1回ずつ担当し、2ヵ月に1回発行 ・認知症の豆知識や、認知症関係機関や市民の取組についてのインタビュー等を掲載 ※ 通いの場、サロン、公共施設、郵便局等への配布。市掲示板への掲示 【たま広報】 ・3ヵ月に1回、たま広報に認知症施策や認知症豆知識を掲載
	認知症ケアパス	引続き認知症についての普及啓発のために配布	内容や、レイアウト等、全体の改訂を行う
	認知症を知る月間	認知症の正しい知識の普及啓発のために、広報のほか、展示やイベント等を企画・実施する。 認知症についての普及啓発強化月間。 子育て世代など多世代への普及啓発に取り組む。	8/20号　　たま広報　認知症特集号　掲載 9/ 7　　認知症サポーター養成講座＋ステップアップ講座を開催（協力：初期集中支援チーム） 9/1～9/29　認知症普及啓発パネル展示・オレンジランプ工作とメッセージカードの展示（場所：関戸公民館） 9月　　・ 中央図書館と連携展示 ・ 各包括、普及啓発イベント等を開催 ・ 認知症家族向け講座を開催（共催：認知症疾患医療センター） ・ 多世代世代の普及啓発折り紙工作
	あしたの会（認知症講座）	年間で 1 回あしたの会を実施する。（普及啓発・当事者の発信の場として） 企画・実行を各推進員で役割分担をする。　今年度は関戸公民館と共催	【開催日】 9月28日　映画「オレンジ・ランプ」（若年性認知症テーマ）上映　と　原作モデル者トーク 登壇者　　：　原作モデル者　丹野智文氏　、多摩市当事者 ファシリテーター：　若年性認知症総合支援センター
	認知症サポーター養成講座 「知る・備える・ともに生きる」	市民・企業に対して認知症の普及啓発講座を、5人以上の申込で出張講座を開催出張で行う。 また、出張講座開催に加え、広く市民を対象とした講座開催を、年に 2 回行う。 一般的な講義に加え、対応方法ハウツーものを増やす。 今年度は、特別企画「落語」つきで、集客を図る。	全域開催（市主催） 第1回目：4 月 2 4 日　永山公民館　ベルブ永山　ホール 第 2 回目：9 月 7 日　　関戸公民館　大会議室 出張講座・包括開催　適宜実施する

項目	事業名	令和 6 年度の方向性	取り組み内容
② 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	認知症サポーター ステップアップ講座	・認知症サポーター養成講座を修了した人を対象として、ステップアップのための講座を市全域で2回行う。講座修了者に、オレンジパートナー登録への案内をする。 ・統一的な企画・運営ができるように実施フローの整理を行う。 ・令和7年度以降、各地区でステップアップ講座を開催できるように、小規模で小規模地域でモデル試行し、検証を行う。	第1回目：9月7日 関戸公民館 大会議室 第2回目：1月 総合福祉センター（予定） 適宜、小規模地域でのステップアップ講座のモデル試行を行う
	オレンジパートナー活動	・ステップアップ講座の修了者に対して、 認知症施策や、認知症当事者と共に活動可能な、協力者「オレンジパートナー」 を増員し、名簿登録者を増やす。 ・隔月オレンジパートナー通信を配布・送信し、繋がりを保つとともにマッチングについて検討する。 ・交流会や説明会を開催することによって、オレンジパートナー同士や地域包括支援センターとの関係の構築を目指す。	・オレンジパートナーと認知症当事者とのマッチングのための活動希望調査の実施 ・オレンジパートナーの研修会と交流会の開催 ・インフォーマルな支援が必要なケースについて検討
	チームオレンジ	・チームオレンジの活動ニーズを検証する。 ・各地域でチームオレンジへの働きかけを実施し、チーム結成を目指す。 ・結成されたチームオレンジの継続支援について検討を行う。	・多摩市のチームオレンジの在り方について決定する ・チームオレンジの設置から継続支援について整理する
	認知症カフェ	・適宜、エリア内において連携。 ・オレンジパートナーの活動の場やマッチングの場としてはたらきかける。 ・認知症カフェ同士の意見交換会などを実施する	・認知症カフェ同士の交流会・研修会開催についての検討 ・オレンジパートナーの活動の場としてのマッチングの検討
	若年性認知症への支援 （若年性認知症総合支援センターとの連携）	・若年性認知症総合支援センター（日野市）と連携し、認知症講演会「あしたの会」を実施する。また、普及啓発にかかる助言支援を得る。 ・各包括における、若年性認知症ケースを整理し、集計・ニーズ分析を行う。	・あしたの会（認知症講座）にて連携（若年性認知症についての普及啓発） ・若年性認知症の相談内容や支援ニーズの照会・共有
	家族会・本人会との 連携・支援	・会場の確保 ・後方支援 ・チームオレンジの支援を行う。（適宜参加し、チームの役割など確認） ・あしたの会（認知症講座）の開催	・広報や会員募集のポスター作成と周知 ・運営者（協力者）の人材確保支援
③ 医療・ケア・介護者への支援サービス・	認知症初期集中支援チーム （天本病院）	・適切な医療や介護に繋げるための介入に、適宜初期集中支援チームを利用するとともに、地域ケア会議へのスーパーバイズとして積極的な利用を行う ・認知症と初期集中支援事業についての普及啓発を行う	・普及啓発活動として、ステップアップ講座の講師（ 2 回） ・普及啓発活動として、ケアマネジャーへ向けての「認知症および初期集中支援」の講座開催（共催）
	認知症疾患医療センター （桜ヶ丘記念病院）との連携	・認知症講座 介護者向け公開講座の共催を依頼	・令和5年度に引き続き、認知症を知る月間の一環として、認知症介護家族者向けの講座を行う（共催）
	個別地域ケア 会議の開催	認知症高齢者の支援について、地域ケア会議を開催しケアプランを見直すことで地域のネットワークづくりを行う。	・地域包括支援センターで行う地域ケア会議から、地域課題やインフォーマルなサービスの必要性を検討し、地域のネットワークづくりを行う（チームオレンジ等）
	高齢者等位置情報 サービス等	継続実施。 対象者について、必要時、地域のネットワークづくりを行う	地域包括支援センターで行う地域ケア会議から、地域課題やインフォーマルなサービスの必要性を検討し、地域のネットワークづくりを行う（チームオレンジ等）
	もの忘れ相談事業	継続実施（8月）周知・受付等	【実施内容】 ・75歳～84歳に対して、案内通知を送付 送付者（予定）：19,260名 ・期間は、令和6年8月1日～令和7年3月31日
④ 認知症予防	社会参加の充実	地域で、高齢者が身近に通える住民主体の通いの場（サロン・近所de元気アップトレーニング・地域介護予防教室）の拡充とともに、「支える側と支えられる側」にとどまることなく、認知症の人も役割を持って互いに支え合いながら自分らしく生活できる地域を目指す。	認知機能が低下しても通い続けることができる、認知症に対して正しい理解がある地域の通いの場の拡充に向けて普及啓発を行っている。